

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステム No. NDA1 V5 900

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation
株式会社オートエクゼ
〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。
また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種:ロードスター (ND)

警 告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方の方は自動車整備を専門に3年以上経験をしている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

! ご使用上の注意

本製品は通常の降雨時走行では問題の無い設計としておりますが、台風や豪雨など大量の雨水が浸入するような環境下で走行する場合は、空気導入口をガムテープなどで塞ぐことをお奨めします。
また、高圧洗車機などで洗車を行う際は、空気導入口付近には直接水をかけない様ご注意ください。

PARTS LIST



純正エアクリーナーの取外し・取付け準備



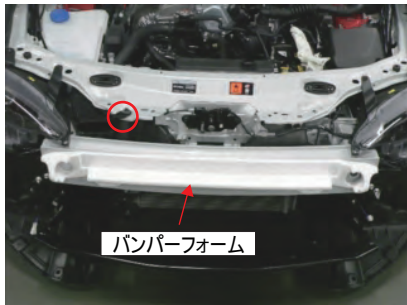
1. 車両からフロントバンパーを取外します。



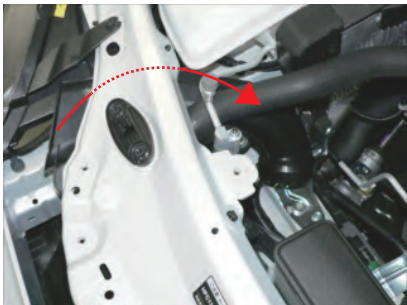
2. エアークリーナーカバーとエアークリーナーエレメントを取外し、エアフローセンサーを取外します。次に、○印部のスクリューを取外し、エアークリーナーケースを取外します。



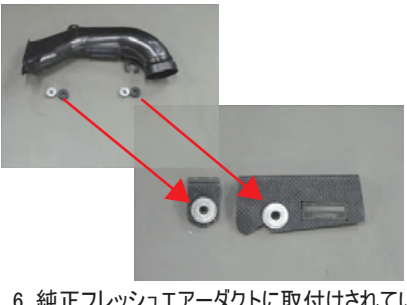
3. 純正フレッシュエアダクトを取外すため、○印部のスクリューを取外します。



4. ○印部のスクリューとフロントバンパーフォームを取外します。



5. エンジンルーム側から純正フレッシュエアダクトを取外します。



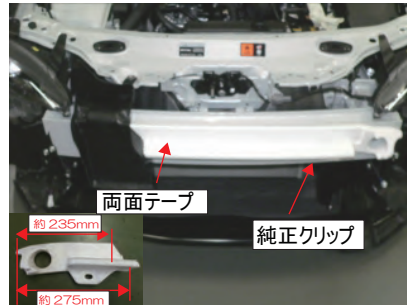
6. 純正フレッシュエアダクトに取付けされているマウンティングブラバーおよびスペーサーを取外し、カーボンスター A・B にそれぞれ移設します。

ラムエアインテークシステムの取り付け

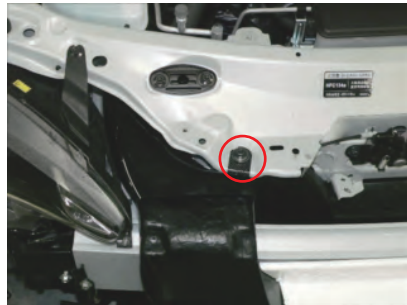
注) 各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。



7. ビスC・M3ナットを使用して、フレッシュエアダクトにカーボンスターAを取付け、図示の位置(フレッシュエアダクトがバンパーレインフォースメントに接する部位)に両面テープを貼付けます。



8. フレッシュエアダクトに合わせてフロントバンパーフォームを切除加工し、固定ポイントが無くなった運転席側には両面テープを貼付け、フロントバンパーフォームを車両に復元します。



9. 純正ボルトを使用し、フレッシュエアダクトを固定します。



10. ビスAを使用して、カーボンドクトケースにカーボンスターBを取付けます。



11. カーボンドクトケースをフレッシュエアダクトに挿入しながら車両に配置し、エアフィルターを仮付けします。



12. ビスBを使用して、カーボンエアフローアダプターにエアフローセンサーを取付けます。



13. カーボンエアフローアダプターを純正エアースホースに挿入します。



14. Vクランプを使用して、カーボンドクトケースとエアフィルター、カーボンエアフローアダプターを固定します。



15. サブタンクホースの図示部にコルゲートチューブを被せ保護します。次に、エアフローセンサーのカプラーを接続します。



16. カーボンドクトケースを純正スクリューで固定します。



17. フロントバンパーを復元します。



18. 各部増し締めし作業完了です。